



こどもたちのために
わたしたちができること

WHAT WE CAN DO FOR CHILDREN



南河内地域の

(松原市、富田林市、羽曳野市
河内長野市、藤井寺市、大阪狭山市
河南町、太子町、千早赤阪村)

みなさんと
家庭養育を
目指します

家庭を必要としているこどもたちがいます
家庭で暮らせないこどもたちのための里親になりませんか？

まずは
お電話ください

☎ 072-959-2202

FAX 072-959-2242

email withsatooya@takawashigakuen.com

HP withsatooya.takawashigakuen.com

〒583-0886 大阪府羽曳野市恵我之荘2-1-5



詳しくはコチラ▲



高鷲学園 里親支援機関
「with里親」

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION



様々な事情により家庭で生活できない子どもたちが、大阪府で約3,000人、南河内地域に約230人います。子どもたちのために里親になりませんか？



高鷲学園with里親は

「はぐくみホーム」「週末里親」を目指す家庭と、登録に向けたステップを共に進みながら継続してサポートしていきます。

「はぐくみホーム」とは

大阪府では、自分の家庭に子どもを迎え入れ、一定期間子どもと暮らす養育里親のことを「はぐくみホーム」と呼んでいます。預かる期間は数日から数カ月の短期間や、数年から成人するまで養育していただく長期間の場合があります。南河内地域のはぐくみホームはおおよそ20家庭です。

「週末里親」とは

施設で生活している子どもが、家庭生活を体験することを目的に、月に数回の週末から、長期休暇などに家庭に迎え入れてくださる家庭のことを「週末里親」と呼んでいます。



はぐくみホーム・週末里親になるには条件があるの？

Q.1 どんな人がなっているの？

Answer
特別な資格は必要ありません。家族と離れて暮らす子どもたちの気持ちに寄り添える方、ごありふれた家庭生活を子どもたちと一緒に送ってくださる方、どなたでも里親活動が可能です。登録のために研修等の受講が必要です。

Q.2 夫婦共働きでも大丈夫ですか？

Answer
家庭事情や勤務状況にもよりますが、共働きで里親をされている方もおられます。保育所を利用することもできます。その場合、保育料の減免制度があります。
*週末里親はお休みの時に活動していただけます。

Q.3 自分の子どもがいてもできますか？

Answer
自分の子どもがいて里親をされている方もたくさんおられます。一度ご相談ください。

Q.4 子どもを引き受けた後、子どもの気持ちに寄り添えるか不安です。

Answer
養育の悩みについてはwith里親の支援員、心理士などがサポートします。子どもの心を理解するには、里親同士で語り合うのも良いでしょう。地域の里親会による支援や交流活動もあります。

Q.5 お金持ちでないと無理ですか？

Answer
子どもの生活に必要な費用は、一部手当てが出ます。
●里親手当て(はぐくみホーム)→90,000円
●生活費や学校、幼稚園の費用→原則公費負担
●医療費→公費負担
●週末里親では謝礼金として1日1,500円
交通費1,000円が支給されます。(上限あり)

Q.6 長期間継続するのは難しいなあ。

Answer
はぐくみホームを短期間必要としている子どももいます。養育を少し休息したいとなれば、レスパイト制度(休息をとる)を活用していただけます。

わたしたちは、高鷲学園 里親支援機関 with里親 です。

児童養護施設高鷲学園は大阪府南河内地域の羽曳野市で70年間社会的養護を必要とする子どもたちを養育してきました。これまでの経験も活かしていきながら、地域の家庭で行う家庭養育をみなさまと一緒に目指し、サポートしていく里親養育包括支援(フォスタリング)機関として活動しています。